

他大学図書館紹介

東北女子短期大学附属図書館

学生がたのしく、くつろいで情報を得る場として

東北女子短期大学図書館長 七戸 英之

東北女子短期大学は栄養士養成の生活科と幼稚園教諭・保育士養成の保育科で構成されています。本学は大正 12 年に柴田やす先生が女性の自立のための女子実業教育のために開設した弘前和洋裁縫学校を祖として、昭和 25 年に開学しました。以来、「教育即生活」を建学の精神として実務教育を根幹に据え 66 年、主に女子教育により地域社会に貢献してきました。

本学はその成り立ちから家政学を基盤として昭和 31 年には図書館を増築し、柴田学園創立以来の貴重な蔵書を管理・利用することができるようになりました。しかし、昭和 35 年に火災により校舎はもとよりすべての蔵書を焼失してしまいました。そのため蔵書は昭和 35 年に再建されて以降からの再出発となります。現在、学生が利用している図書館は昭和 60 年完成の 3 代目となります。蔵書は家政学関連の書籍、特に食物・栄養、育児・保育が多くを占めて総蔵書点数は 4 万冊余です。



インターネットによる資料検索があたりまえになった現在、学生はともすると手近な携帯端

末に頼る傾向が強くなっていますが、本を手にとって資料を調べることはピンポイントの情報収集ではなく、予期せぬ周辺の情報にも触れる機会が多いことからできるだけ本に触れる機会を増やすように教員はレポート作成などに行きだけ図書館の利用を勧めています。また、学生が図書館を気軽に利用できるように、蔵書を携帯端末から検索できるように電子管理を採り入れたり、閲覧室内の書架には各学科で必要とする書籍を目につきやすいように配置するなど工夫を凝らしています。また、購入図書も学生の希望を積極的に取り入れ、専門書のほか、話題の新刊の購入にも応えています。

図書館の閲覧室は、座席数が 42 と小規模ではありますが昨年室内をリニューアルして明るく



おしゃやかな雰囲気になり、学生利用がこれまで以上に多くなったことに喜んでいます。

今後、アクティブラーニングなど図書館の役割がさらに増すことでしょう。新しいニーズに対応できる図書館を意識して地域に開かれた図書館づくりを心掛けています。

(しちのへ ひでゆき)